



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
AIとお金と小川と武道館 ロック歌手 サンプラザ中野くん

- 4 インタビュー／扉を開く
紫舟 書家、芸術家、大阪芸術大学教授
アートで想像力を拡張する



- 9 地域の底力——三重県伊勢市
式年遷宮を柱に多彩な試みが開花する

- 16 対談／守・破・創
日比野克彦 東京藝術大学学長・現代美術家
増 一行 日本銀行政策委員会 審議委員
社会的課題を解決する藝大の新たな使命



- 20 FOCUS → BOJ 55 日本銀行パリ事務所
欧州で政治と金融の交差点を読み解く

- 日本銀行のレポートから
24 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2026年7月—

- 26 「地域経済報告」(さくらレポート) —2026年7月—
別冊「地域の消費関連企業の価格設定行動の変化と2026年度の価格改定方針」
—2026年5月—

- 32 暮らし・きんゆう塾
資産形成の基本 ——「長期・積立・分散」でお金を育てる

- 33 トピックス
「中央銀行デジタル通貨に関する実証実験
『パイロット実験』の進捗報告書」を公表 ほか



- 35 AIR MAIL from Hong Kong
香港映画の復活

表紙のことば

日本銀行宮崎事務所は、昭和二十一年（一九四六）二月に、宮崎駐在員事務所として日向興業銀行（現・宮崎銀行）本店内に開設されました。その後、昭和二十三年（一九四八）二月に宮崎事務所に改称され、同年十二月に宮崎県庁本館向かいの独立店舗に移転しました。

表紙の店舗はその建物です。内部は吹き抜け構造で、高い天井を須木村（現・小林市）の国有林から切り出された樹齢約三〇〇年のケヤキの通し柱が支えました。この美しく巨大な柱は、後に宮崎県に寄贈され、宮崎県総合運動公園にある日本庭園「日向景修園」の門柱として再利用されました。

昭和四十六年（一九七二）八月、宮崎事務所は、新築された宮崎銀行本店内へ移転し、現在に至っています。開設八〇周年を迎えた宮崎事務所は、これからも地域経済の発展と県民の皆さまの豊かな暮らしを支えるために努めてまいります。



表紙・画 北村公司